

令和7年度「地域密着型金融」の 取組み状況について



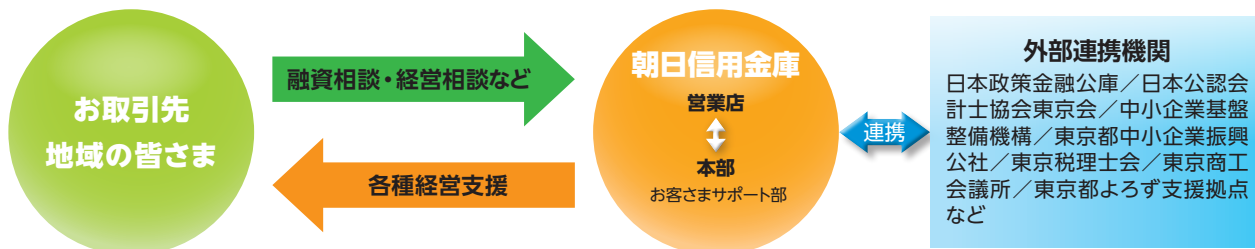
朝日信用金庫



地域密着型金融への取り組み

中小企業の経営改善及び地域活性化のための取り組み状況

当金庫は、地域から真に必要なとされる金融機関になることを目指し、「コンサルティング機能強化」、具体的には「お客さまの課題解決」に重点を置いた活動を展開しています。お取引先それぞれに応じた支援体制・支援内容の充実を図り、課題解決に向け、営業店と本部が一丸となってサポートいたします。また、必要に応じて様々な外部専門機関や地元自治体と連携するなど、質の高い経営支援に取り組んでいます。

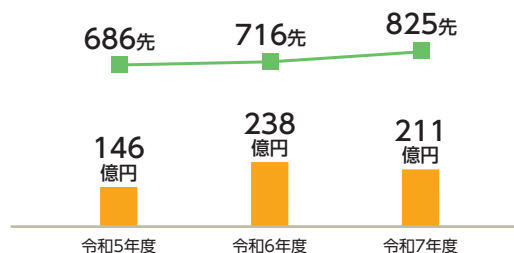


創業期支援

地域の雇用増加や地域内事業の活性化のため、新たに事業を立ち上げる方や創業期の企業の方に対し、お客さまのニーズに合った情報の提供、創業助成金制度の紹介を行っているほか、ご融資にも積極的に対応しています。

・令和7年度「創業支援融資」 825先／211億円

創業支援融資の実績（設立5年以内の事業者向け融資）



●朝日創業塾

創業される方・創業5年未満の方を対象に、台東区・江戸川区と連携し特定創業支援等事業の一環として「朝日創業塾」を平成30年度から開講しています。経営・財務・人材育成・販路開拓などの全4講座を受講し、区より証明書の交付を受けた場合には、区内で会社を設立する場合の登録免許税軽減や信用保証協会の創業関連保証の特例などが受けられます。（令和7年度は全4講座に加え「創業計画書作成支援」講座を希望者のみ追加で実施）

・令和7年度「朝日創業塾」受講者 計60名
 たいとう朝日創業塾（西町ビル）10/9・10/23・11/6・11/20・12/4
 えどがわ朝日創業塾（タワーホール船堀）10/15・10/29・11/12・11/26・12/10



販路拡大支援

お取引先企業の新たなビジネスチャンスを作り出すことを目的に、商談会やセミナーの開催をはじめ、様々な外部機関等と連携しながら地元中小企業の販路拡大をサポートしています。

●朝日ビジネスマッチング「大手バイヤー商談会」

当金庫は、平成27年からお取引先企業とバイヤーを結ぶ完全予約制の「大手バイヤー商談会」を開催しています。令和7年度は、令和8年3月18日に、信金中央金庫 京橋別館において、参加バイヤー17社とお取引先72社の間で96件の商談が行われました。



●海外展開をサポート

令和7年12月から約2カ月間、台東区が主催する「タイ（バンコク）テスト販売」に協力しました。お取引先15社が82商品を出展・販売を行い、12月11・12日には現地バイヤー30社を招いたハイブリッド商談会を開催し、78商談を実施しました。また、台東区共催による「海外展開支援セミナー」を令和8年2月4日に開催。タイの経済・景気動向のほか、東南アジアの基礎知識などの内容に30社31名が参加されました。



経営力強化のサポート

●事業承継支援などのコンサルティングサポート

お取引先が抱える多種多様な相談ニーズにお客さまサポート部の専門スタッフが営業店や外部専門機関などと連携し、個別課題の解決に取り組んでいます。各種補助金の申請や助成金等の活用、事業承継、M&Aなどの課題や、市場動向から事業目標・戦略立案など、様々な面から経営をサポートしています。

・令和7年度相談件数 1,552件（個人97件／法人1,455件）

相談の内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
経営支援	377	海外展開	99
各種補助金	298	販路開拓	91
事業承継	231	人材活用	45
相続・贈与	128	資金調達	45
M&A	108	その他	130
合 計		1,552	

●セミナーの開催

当金庫は地域産業活性化のため、事業者の方向けにZoomを利用したWEBセミナーを随時開催しています。令和7年度は、補助金活用や助成金についてのセミナーをはじめ、海外展開、人材確保、商談成約率UPのコツなどをテーマに開催し、846社884名の方が参加されました。



●地元企業の人材採用をサポート

人材を確保したいお取引先企業に、当金庫が業務提携している人材サービス会社や、国の給付金事業である経営人材マッチング支援事業「レビキャリア」をご紹介します。職種や働き方など、お取引先が求める人材の採用を応援しています。特定のスキルを持つ人材をはじめ、若手・中堅層から管理職、外国人材まで、幅広い採用ニーズに対応しています。

●「金融仲介機能のベンチマーク」への取り組み

平成28年9月に金融庁より、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価する「金融仲介機能のベンチマーク（以下ベンチマーク）」が公表されましたが、当金庫はベンチマークが公表される以前から、地域におけるお客さまのニーズ・課題に応じた融資やソリューション（解決策）等を提供することで金融仲介機能を発揮しています。ベンチマークを効果的に活用していくことで、金融仲介機能の質を一層高め、地域の持続的な成長に貢献してまいります。

●事業性評価に基づいた金融サービスの提供

当金庫では、お取引先企業の財務内容等の過去の実績や担保・保証に必要以上に依存することなく、日々の営業活動を通じてお取引先企業の事業内容や成長性等を適切に評価する事業性評価活動に取り組んでいます。また、お取引先企業の経営課題の解決に向けて最適な金融サービスの提供に努めています。

●経営改善支援等の取組実績

中小企業診断士等の専門スタッフがお取引先企業とともに、外部の支援機関と連携して経営改善、事業再生に向けた取り組みを行っています。

【令和7年度 経営改善支援等の取組実績】

(単位：先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組先数 B	⑧のうち期末に 債務者区分が ランクアップした先数 C	⑧のうち期末に 債務者区分が 変化しなかった先数 D	⑧のうち 再生計画を 策定した先数 E	経営改善支援 取組率 B/A	ランクアップ率 C/B	再生計画 策定率 E/B
要注意先	6,082	236	2	221	23	3.9%	0.8%	9.7%
うち要管理先	14	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻懸念先	730	67	0	64	1	9.2%	0.0%	1.5%
実質破綻先	82	2	0	1	0	2.4%	—	—
破綻先	19	0	0	0	0	0.0%	—	—
小 計	6,927	305	2	286	24	4.4%	0.7%	7.9%
正常先	13,812	71		55	0	0.5%		0.0%
合 計	20,739	376	2	341	24	1.8%	0.5%	6.4%

(注) ■ 期初債務者数及び債務者区分は令和7年4月初時点まで整理しています。
■ 債務者数、経営改善支援取組先は、事業性と信のある先であり、住宅ローン、消費性ローン等のみの先は含みません。
■ ⑧には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組先で期中に完済した債務者は⑧に含めるものの⑧に含めていません。
■ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は⑧に含めています。

■ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
■ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
■ ⑧には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
■ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
■ 「再生計画を策定した先数⑤」＝「中小企業活性化協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「当金庫の再生計画策定先」

お客さまの利便性向上への取り組み

令和2年より業務改革に取り組み、外部のクラウドサービスの活用や、勘定系を含む内外のデータ活用のほか、様々なデジタル技術を取り入れることで、カスタマーエクスペリエンス（顧客体験）の向上と、当金庫の持続的な成長を重視した経営を目指しています。また、近年はデータが企業の成長に欠かせない要素になってきていることから、令和8年5月より勘定系システムをクラウド化し、安全かつ柔軟にデータを活用できる基盤を構築しました。

●ご来店のお客さまへのサービス・サポート

お客さまとの接点となる営業店窓口でのサービスをさらに充実いたします。

- ・店頭のタブレット端末を利用した「伝票レス・印鑑レス取引」の拡大
- ・店頭でお待たせしない「来店予約サービス」の導入
- ・店頭のテレビ会議システムを利用し、専門知識を持つ本部職員がご相談をサポート
- ・お持ちのスマートフォンに通知が届く「番号発券サービス」を導入
- ・来店前に伝票が作成できる「WEB伝票作成サービス」を導入

●外訪活動のデジタル化

営業係による外訪活動においてもDX化を進めます。

- ・営業係のタブレット端末を利用した「オンライン相談」により、お取引先の課題解決をサポート
- ・営業係による訪問先での「伝票レス・印鑑レス取引」を拡大

●非対面チャネルの充実

平日のご来店が難しいお客さまや、自由度を重視する若年層へのサービスをご提供します。

- ・「朝日スマートアプリ」を利用し、来店不要で完結する取引を拡大
- ・ATMの機能を拡充
- ・「朝日ビジネスポータル」を導入し、お取引企業の利便性向上

●デジタル人材の育成

お客さまのDX化に貢献できるよう、デジタル人材の育成に取り組んでいます。

- ・デジタル技術やDXに関する学びのための環境を整備
- ・ITパスポート資格の推奨（令和8年3月末現在 資格保有職員数332名）



地域やお客さまに対する情報発信

● ディスクロージャー誌



● 中小企業景況調査



● WEBサイト・スマホサイト



朝日中小企業経営情報センター〈ACC〉

ACCは、中小企業の発展を通じ、地域の発展に寄与することを目的に、当金庫が平成8年3月に基本財産5億円を拠出し、設立した財団法人です。ACCでは次の3事業を柱に活動を展開しています。

● 経営者・従業員に対する研修事業

中小企業の経営者、管理者、社員の方向向けの研修講座を中心とした事業です。令和7年度は21講座を開講し、912名の方が受講されました。また、事業後継者や経営幹部の方々を対象にした「次世代マネジメントカレッジ」と、そのOB会「次世代マネジメントクラブ」を11回開講し、延べ252名の方が受講されました。なお、設立以来の累計受講者数は延べ2万7千名を超えています。

令和7年度	開講数
経営者研修（次世代講座を含む）	15講座
管理者研修	3講座
社員研修	3講座
計	21講座



● 企業振興のための助成事業

新製品の研究開発、新分野への進出、環境改善などに積極的に取り組んだ企業へ顕彰・助成を行っています。令和7年度の助成金額は1件あたり10万円、最優秀賞20万円を設けています。17先に190万円、累計では436社に1億8,518万円の助成を行いました。



● 異業種交流事業

異業種交流会の開催・情報提供・企業紹介など異業種ならではの交流を通じて自社の新たな価値を見出さずしていただく事業です。3つの分科会に39社が参加、それぞれの活動をACCがサポートしています。

一般財団法人 朝日中小企業経営情報センター

〒110-0015 東京都台東区東上野1-2-1 朝日信用金庫西町ビル5F
TEL.03-5818-1281 FAX.03-5818-2811 <https://zai-acc.com/>



中小企業経営者のための情報誌「ACC INFORMATION」を年2回発行しています。



SDGs達成に向けた取り組み

当金庫は平成19年度より「朝日のCSR」を経営の柱に掲げ、CSRに重点をおいた地域密着型金融に取り組んでまいりました。「持続可能な開発目標」＝SDGs (Sustainable Development Goals) の達成に向け、協同組織金融機関に課せられた相互扶助の精神に則り、下記の3つの重点課題を中心に本業を通じた社会課題の解決と持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 地域社会の持続的な発展への貢献

当金庫は、地域で真に必要とされる金融機関を目指し、地域密着、お客さまに寄り添う経営に重点をおいた活動を展開しています。地元中小企業への総合的な支援体制を整え、地域社会および地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

2 環境課題への取り組み

当金庫は、エコキャップ推進活動など資源の効率的な利用や廃棄物の削減等を地域の皆さまとともに実践しています。また、100%再生エネルギーを促進する新たな枠組み「再エネ100宣言 RE Action」に加盟するなど、今後も地域の環境保全活動を推進してまいります。

3 豊かな暮らしの実現

当金庫は、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組む一方、地域の祭り・イベント等への積極的な参加を通じ、地元の皆さまとの「きずな」を深めてまいりました。地域にかかわるすべての人が「豊かさ」や「幸福」を実感できるよう今後も真摯に取り組んでまいります。

「荒川区環境区民大賞」で大賞受賞

令和8年1月27日、荒川区の「令和7年度荒川区環境区民大賞」において、荒川南支店が行っている「ゴミの削減活動」、荒川支店の「ペーパーレス活動」が評価され、それぞれ大賞と奨励賞を受賞しました。



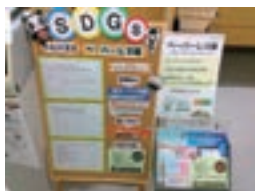
クーリングシェルター

自治体と協定を結び、夏季の営業時間内に一部店舗においてロビーを開放しています。この取り組みは、台東区の「涼み処」、荒川区の「街なか避暑地」としてクーリングシェルターの役割を担っています。

SDGsロビー展

当金庫では、店舗ごとにテーマを決めて「SDGsロビー展」を開催しています。地域連携による防犯・防災の呼びかけや、3R*のアイデアなどをディスプレイで紹介し、お客さまの目を楽しませながらSDGsを啓発しています。

*Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の総称



中学生向け「キャリア教育セミナー」で授業

令和7年9月12日、市川市立妙典中学校の「キャリア教育セミナー」で、当金庫職員が金融機関の役割などについて授業を行いました。セミナーは地域の様々な職種の方が講師を務め、生徒が進路選択の参考にすることを目的としています。



環境保全への取り組み

●環境対応型融資商品の取り扱い —

太陽光発電などの省エネ設備を設置した住宅を対象にした住宅ローンや、エコカー購入の際のマイカーローンの金利を優遇し、お取引先の環境問題への取り組みを応援しています。東京都と「サステナブルファイナンスの活性化に向けた連携協定」を締結したほか、令和7年4月より、SDGsにつながる取り組みを応援する『朝日サステナビリティ・リンク・ローン』の取り扱いを始めています。

●印刷物への対応 —

地球温暖化防止への取り組みとして、当金庫の通帳・証書・カレンダー・パンフレットなどの印刷物に、制作時に発生したCO₂を相殺するカーボンオフセットや、FSC森林認証紙などを積極的に採用しています。



●ペーパーレスの促進 —

店頭や営業係にタブレットを導入し、書類の電子化を促進しています。また、令和2年より業務改革によるペーパーレスを進め、融資ファイルなど内部管理書類や報告書類の電子化・集中化により保管書類の約9割を電子化しました。

●100%再生可能エネルギーを使用 —

当金庫は、東京電力エナジーパートナー株式会社と「実質再生可能エネルギー由来の電気を100%導入する契約」を締結し、令和4年7月より「再エネ」を利用しています。

再エネ100宣言
RE Action

《朝日信用金庫の目標値》
・2030年までに使用電力の90%以上を再エネ化
・2050年までに使用電力の100%を再エネ化

(令和4年5月25日加盟)

●その他の取り組み —

店舗新築の際には、LED照明や二重ガラスなど環境に配慮した省エネ設備を積極的に採り入れ、本店ビルや本部ビル（豊島町支店）には、太陽光発電システムや屋上緑化・壁面緑化を採用しています。また、粗品袋の素材を見直し、廃棄される非食米から作られた新素材のライスレジン製に切り替えました。令和7年5月からは、時候に合わせたビジネスカジュアルを通年で実施しています。

働き方改革への取り組み

●朝日ダイバーシティ推進 —

平成30年2月に掲げた「朝日ダイバーシティ行動宣言」のもと、職員の個性・価値観を尊重した人材育成や、ワークライフバランスを考えた働きやすい職場づくりを目指しています。



●職場復帰支援

疾病を抱えて長期間にわたる休職に至った職員の不安解消と円滑な職場復帰を支援するため、「職場復帰支援プログラム」や「短時間勤務制度」を導入しています。また、育児休業中の職員には「あさひママ友・情報交換会」や「育休復帰前面談」に加え、「職場復帰研修」を実施しています。



●キャリア形成支援

令和8年4月に「朝日キャリア相談室」を開設し、職員のキャリア形成や育児・介護・治療と仕事の両立等の相談に対応し、職員の悩みや不安の早期解消の環境を整えています。

●各種認定の取得 —

当金庫は、「子育てサポート企業」の最高位「プラチナくるみん」、女性活躍推進企業認定マーク「えるぼし（二つ星）」の認定を受けました。また、「健康優良企業（金）」の通算6期連続取得など、職員とその家族の健康管理と環境整備にも積極的に取り組んでいます。このほか、「仕事と介護を両立できる職場環境」（愛称：トモニン）の登録や、プレミアムフライデーの推奨など様々な面から働き方改革を推進しています。



協金第53号

社会貢献・地域貢献活動

●エコキャップ推進活動

『ゴミとして廃棄されるペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で開発途上国の子どもにワクチンを贈る』というエコキャップ推進活動を平成20年から実施しています。

また、江戸川区内の店舗の回収分は、同区の「障がい者支援施設」に選別作業を委託し、地域社会の福祉活動に貢献しています。

回収実績 令和7年度 5,808,000個
累計 190,606,640個

これを換算すると
▶ポリオワクチン…223,137人分
▶二酸化炭素の削減…約1,405トン



●公益法人等への寄付

●すみだ水族館「AQTION!」パートナー

すみだ水族館が行っているサステナブルな活動「AQTION!」に令和4年度より協賛しています。この活動を通して、環境問題への気づきや、子どもたちの視野を広げる活動をサポートします。

●東京都交響楽団「ヤングシート」

公益財団法人東京都交響楽団が全国の小学4年生から高校3年生を対象に年間980名を休日の昼公演へ無料招待する教育活動「ヤングシート」に協賛しています。

●東京文化会館オフィシャル・パートナー

令和4年より公益財団法人東京都歴史文化財団東京文化会館のオフィシャル・パートナーに協賛しています。東京文化会館は、オペラ・バレエ・クラシックコンサートなど3万回以上の公演を開催した歴史ある音楽・舞台芸術の殿堂です。オフィシャル・パートナーによる財源は、新たな舞台芸術の創造発信、新進音楽家の発掘・育成などに活用される予定です。

●地域の子どもたちのために

●わんぱくトライアスロン

当金庫は地元小学生のスポーツイベントに協賛し、若い力を応援しています。令和7年8月24日、台東・墨田区内の小学4～6年生が参加した「桜橋・わんぱくトライアスロン」が台東リバーサイドスポーツセンター・隅田公園・桜橋を会場に行われ、当金庫職員はコース誘導などをお手伝いしました。



●お仕事ノート・お仕事ブック

令和6年より営業地域の小学生・中学生向けに、地域にある具体的な業種の法人を紹介した「お仕事ノート」「お仕事ブック」を無償配布する活動に協賛しています。小中学校のキャリア教育の副教材として利用されています。勤労観や職業観をはぐくむうえで、身の回りのことへの関心を高め、自分の好きなことを見つけてのびのびと活動すること、そして、集団の中で自己を生かし、社会と自己とのかかわりから夢や希望を膨らませることを課題としてキャリア教育は推進されています。



サークル活動

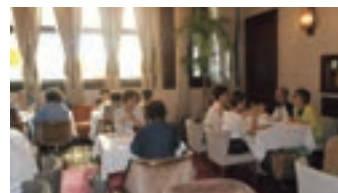
●こすもす倶楽部

当金庫で公的年金を受給（または受給予約）されている方専用のサークルで、毎年1泊旅行や観劇会を実施しています。令和7年度は、10月7・9日に「明治座観劇会」を開催し、松平健さん、檀れいさんをはじめとした豪華スター共演の特別公演に1,943名の方が参加されました。



●ときめき倶楽部

女性のお客さま向けに、有名店のランチをお楽しみいただくグルメサークルです。令和7年度は、7月：フランス料理「La Maison Kioi」、10月：日本料理「現代里山料理 ZEN HOUSE」、2月：中国料理「四川豆花飯荘」にて開催し、延べ120名の方が参加されました。



障がいのある方・高齢者の方へのサポート

●店舗の設備

店舗ごとの対応状況はP29-30をご覧ください。

皆さまが安心してご利用いただけるような設備・サービスをご用意しています。文字や取引図を指し示すことで意思疎通を補助する「コミュニケーションボード」、ご本人からのご希望による「筆談」「代読」対応のほか、耳の不自由な方や発話に困難がある方が当金庫と意思疎通を行いたい場合に、手話通訳者が仲介して双方向をつなぐ「電話リレーサービス」がご利用いただけます。

●点字ブロック

視覚に障がいのあるお客さまを安全に誘導するため、店舗の敷地内から店内やATMコーナーまで点字ブロックを設置しています。



●視覚障がい対応ATM

視覚に障がいのあるお客さまが安心してご利用いただけるよう、点字や音声案内機能付きATMを全店に設置しています。



●AED

心肺停止などの緊急事態に備え、全店のATMコーナーにAED（自動体外式除細動器）を設置しています。



●身障者用駐車場など

お身体の不自由な方専用の駐車場を20店舗にご用意しています。また、「誰でもトイレ」を19店舗に設置、うち6店舗がオストメイト対応となっています。



●高齢者・障がい者対応研修

ご来店されたお客さまに、より質の高いサービスや適切な配慮ができるよう、店内職員を中心に研修を行っています。令和8年3月末時点で「サービスケアサポーター講座」を119名、「認知症サポーター養成講座」を486名の職員が受講しています。そのほか、高齢者対応などの通信講座を積極的に受講し、お客さまへの理解を一層深めています。



●地域高齢者見守りネットワーク

当金庫は、一人暮らしの方など見守りが必要な高齢の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「地域高齢者見守りネットワーク」に加盟しています。高齢のお客さまに対し、日常業務の中で「緩やかな見守り」を行い、認知能力の低下などの異変を発見した場合には、各店舗が属する自治体や地域包括支援センターと連携し、早期支援を目指します。

●シニア・サポートサービス

シニアのお客さまとご家族の皆さまがこの先も安心して暮らしていけるよう、将来に備えた商品・サービスを用意しています。経験豊富な弁護士によるサポート体制、外部専門企業と連携した様々なサービスを揃え、お客さまの大切な財産をお守りします。

「振り込め詐欺」など特殊詐欺の未然防止

お客さまの大切な財産を守るため、地元警察署との連携を強化し、職員が振り込め詐欺などの「特殊詐欺」の未然防止に対する高い意識を持って、窓口でのお声掛けを徹底しています。また、被害未然防止対策として「70歳以上で過去3年間にキャッシュカードによるお取引（振込・10万円以上の引出）をされていないお客さま」は、ATM振込限度額を「0円」、現金引出限度額を「10万円」に設定しています。令和7年度は、15件2,564万円の特殊詐欺を未然に防止しました。



金融仲介機能のベンチマーク

金融仲介機能のベンチマークとは、金融機関の金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価するとともに、金融機関自身の自己点検・評価、お客さまへの開示、監督当局との対話のための論点整理として使用する3種類の指標のことを言います。

共通ベンチマーク	全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題解決等の状況を客観的に把握するために使用している指標
選択ベンチマーク	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択している指標
独自ベンチマーク	各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて、独自で使用している指標

以下に、共通ベンチマークおよび、選択ベンチマーク・独自ベンチマークのうち当金庫が特に重要と考える指標結果について、開示します。

※過年度の数値は、直近のデータ更新および定義の変更等に伴い、一部訴求して反映しているため、過去の公表値と相違する場合があります。

共通ベンチマーク	1
金融機関がメインバンク(融資残高1位)として取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数(先数はグループベース。以下断りがなければ同じ)、及び、同先に対する融資額の推移	

(単位:先、億円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
メイン先数	13,401	13,271	13,102
メイン先の融資残高	7,426	6,950	6,839
経営指標等が改善した先数	4,798	4,690	4,671

経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高推移 (単位:億円)

令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月
4,205	4,092	4,141

共通ベンチマーク 2

金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況

(単位:先)

	条件変更の総数	好調先	順調先	不調先
令和5年度	2,184	33	31	2,120
令和6年度	2,259	34	35	2,190
令和7年度	2,251	40	53	2,158

共通ベンチマーク 3

金融機関が関与した創業、第二創業の件数

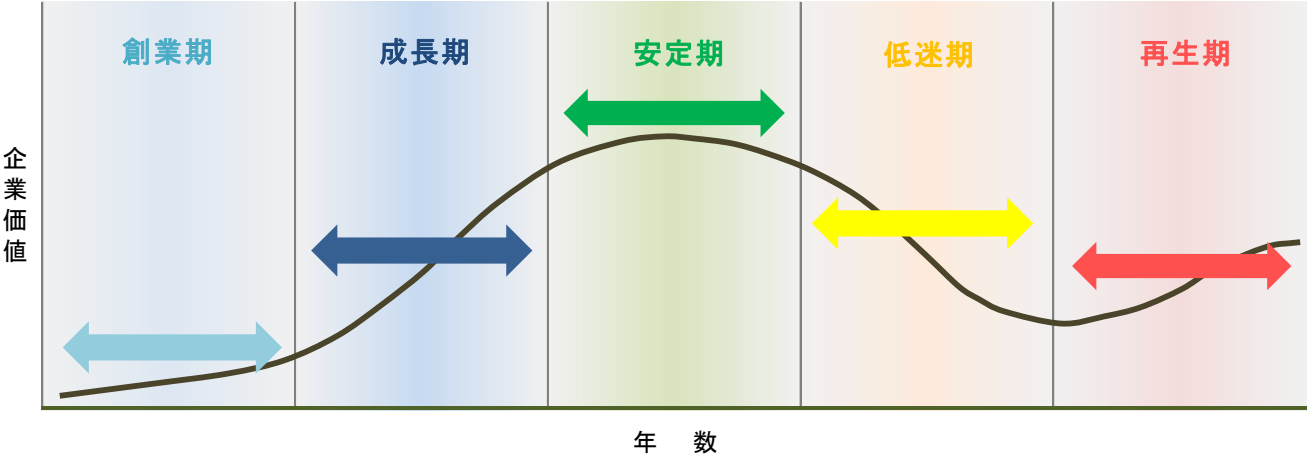
(単位:件)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
609	640	747

共通ベンチマーク 4

ライフステージ別の与信先数(先数単体ベース)、及び、融資額

お客さまのライフステージ



「創業期」とは創業から5年以内にあるお客さまのことを言います。また、「成長期」「安定期」「低迷期」はお客さまの売上状況で区分しています。また、「再生期」には貸付条件変更を行っているお客さま等が含まれます。

ライフステージ別の与信先数 (単位:先)

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
令和5年度	20,613	1,059	599	15,991	416	2,548
令和6年度	20,705	1,158	824	15,809	252	2,662
令和7年度	20,984	1,326	880	15,953	199	2,626

ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高 (単位:億円)

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
令和5年度	11,380	213	764	7,381	420	2,600
令和6年度	11,248	352	1,033	6,864	209	2,788
令和7年度	11,685	348	1,270	6,906	212	2,947

共通ベンチマーク 5

金融機関が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合(先数単体ベース)

事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高 (単位:先、億円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
先数	6,462	6,164	6,195
金額	8,465	8,266	8,803

上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合 (単位:%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
先数	31.35	29.77	29.52
金額	74.39	73.49	75.34

選択ベンチマーク 18

販路開拓支援を行った先数

(単位:先)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
45	96	63

選択ベンチマーク 19

M&A支援先数

(単位:先)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
27	30	42

選択ベンチマーク 21

事業承継支援先数

(単位:先)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
149	143	119

独自ベンチマーク -

市区町村が中小企業者の借入負担軽減を図るため、利子・信用保証料の補助を行い、金融機関と協調して行う融資あっせん制度の取り扱い実績。

(単位: 先、件、億円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
先数	2,586	2,614	2,764
件数	2,834	2,876	3,060
金額	213	230	259

独自ベンチマーク -

経営改善支援に取り組んだ先数

(単位: 先)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
458	468	376

独自ベンチマーク -

経営改善取り組み先へ新たに行った融資の状況(年度累計)

(単位: 先、億円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
先数	31	75	64
金額	34	84.6	59.5

独自ベンチマーク -

新たに経営改善計画策定に取り組んだ先数

(単位: 先)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
40	44	26